



大正製薬<4535>、ビオフェルミン製薬<4517>をTOBで子会社化



大正製薬はビオフェルミン製薬をTOB（株式公開買い付け）により子会社化することを決議した。議決権ベースで64.42%の株式取得を目指す。ビオフェルミン製薬は今回のTOBに賛同の意見を表明しており、TOB成立後も上場を維持する。

ビオフェルミン製薬は1917年の設立以来、活性乳酸菌製剤「ビオフェルミン」の製造販売に特化した高いブランド力を持つ。大正製薬はビオフェルミン製薬を傘下におさめることで、両社のブランドや研究開発力、安全確実な品質保証の仕組みなどを相互に活用して整腸剤分野の強化を図る。

TOBの買付価格は1株あたり3620円。TOB公表前営業日の対象株式終値2950円に対して22.7%のプレミアムを加えた。

TOBの買付予定数は753万5500株(下限は488万4100株)で、買付予定額は272億円。

公開買付期間は2008年2月13日から2008年3月11日までを予定している。